

## 【平成 17 年 1 月～平成 34 年 3 月に、十二指腸静脈瘤、小腸静脈瘤、直腸静脈瘤と診断された患者さん、及びご家族の方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

異所性静脈瘤\*<sup>1</sup>の病態把握および治療の有用性の検討

\*<sup>1</sup>: 異所性<sup>いしょせい</sup> 静脈瘤<sup>じょうみやくこぶ</sup>とは、肝臓の門脈の圧が高まり、その影響で十二指腸や小腸、直腸などの血管（静脈）がコブ状に膨らんだ状態。

### 【研究背景・目的】

異所性静脈瘤はその存在部位の特殊性などから<sup>しよくどう い じょうみやくりゅう</sup>食道胃静脈瘤と比較して診断・治療が遅れがちであり、突然血を吐いたり、便に血液が混じったりして、発見されることも少なくありません。食道胃静脈瘤に比べて、頻度が少なく、どのような静脈瘤が出血しやすいかや、出血する確率などはまだ不明な点が多い病気です。

しかし、出血を起こした際には大量出血で命にかかわることもあり、適切な止血処置が必要とされます。

また、出血する危険性が高いと判断された場合には、予防的に処置を行うことが必要なこともあります。

今回当院で異所性静脈瘤（十二指腸静脈瘤、小腸静脈瘤、）と診断された患者さんについて、診断の方法や病気の経過、治療方法、治療成績について検討しました。

### 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 30 年 3 月 20 日～平成 35 年 3 月 31 日
- ・対象：平成 17 年 1 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日までに当院で異所性静脈瘤と診断された患者さん
- ・取得情報：性別、年齢、診察所見、内視鏡検査所見、画像所見、基礎疾患、血液検査結果、肝臓合併の有無、食道静脈瘤合併の有無、臨床経過、治療方法・内容、治療成績、予後

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 消化器内科 赤星 和也

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 消化器内科 久保川 賢  
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83  
TEL：0948-22-3800（代表）